

# 代表質問

6月定例市議会では、六会派の代表が、議案や市政全般についての質問を行いました。会派別にいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

## 新風会

政令市実現に向け

行政区画等審議会を設置

**問** 政令指定都市実現に向け、設置予定の行政区画等審議会の①審議項目は②スケジュールは③委員構成は。

**答** ①行政区画の編成及び区役所の位置について審議を行う予定だ②中間的な取りまとめを行った後、市民説明会などを行い、平成19年11月頃までに答申を受ける予定だ③大学教授等の学識経験者、市内の関係行政機関の職員、各種団体など各界各層から意見を聞く予定だ。

都市ビジョン達成を目指し  
行財政改革を推進

**問** 都市ビジョンには五十五項目の成果指標が設定されているが①その目的は②行財政

改革や事業仕分けとの関連は。

**答** ①市民に政策のイメージをより具体的に理解されることで、ビジョンの共有化を図るため、また、行政が明確な目標設定のもとに事業を執行する目標到達型の都市経営を行うためだ②行財政改革や事業仕分けは、都市ビジョンの目標を達成

するための行財政基盤を確立する手法であり、「選択と集中」により資源を効率的かつ効果的に投入し事業を推進したい。

国民年金の納付記録  
名簿を無料交付

**問** 年金算定の基となる納付記録が五千万件以上特定できない問題を受け、本市国民年金保険料納付記録の保存状況と、住民票等を含めた無料交付の考えは。

**答** 納付記録としての被保険者名簿を平成3年4月に電算



納付記録の無料交付始まる  
～国民年金課窓口風景

**答** 人件費のみの事務事業や、おおむね一億円以上の比較的規模の大きな事業など約二百三十事業を対象とし、政策レベルでのニーズを検証しながら思い切った仕分けを行う。

市民事業仕分けの評価者については、男女や職業・年齢区分の比率をより適正化するため、公募を減らし、団体推薦を増やす。また、議論をより深く掘り下げするため、仕分けテーマや事業に詳しい特別参加者を二名程度加えたい。

## 公明党

地域ICTの活用で

地域の課題を解決

**問** 地域ICT活用モデル構築事業の内容は。

**答** ICT(情報通信技術)で多様な主体が連携した横断的仕組みをつくり、地域が抱える課題の解決を促す。具体的には①情報の共有や交換ができるコミュニティサイトのできる構築②インターネットを通じ

た防災・防犯マップの提供③ICTタグで児童の通学を見守るシステム等の構築―を通じて、安全・安心なまちづくり、子育て支援を推進する。

ブックスタートで  
新生児と親のふれあいを

**問** ブックスタート事業の内容と実施時期は。

**答** 新生児と保護者が愛情あふれた豊かな時間を過ごすきっかけをつくる取り組みだ。地域、事業者、行政が力を合わせて、平成19年10月実施を



絵本を通じて親子がふれあうひととき

目途に準備を進めている。絵本と子育て支援情報等を配布